

「新島襄生誕之地」碑前祭と 「錦三・七五三太公園」開園記念シンポジウム



同志社の創立者・新島襄は、1843年2月12日(和暦天保14年1月14日)江戸安中藩邸内(現在の学士会館の地)で生まれ、21歳まで江戸・神田で成長しました。平成27年5月学士会館の東方50mの地に新島の幼名「七五三太」を冠した「錦三・七五三太公園」が開園しました。

新島襄の生誕と「錦三・七五三太公園」の開園を記念して、「新島襄生誕之地」碑前祭と「錦三・七五三太公園」開園記念の公開シンポジウムを開催します。

「生誕之地」碑前祭

日時 2016年2月12日(金) 午前10時45分～11時15分
場所 学士会館南側「新島襄先生生誕之地」石碑前
主催 学校法人同志社

公開シンポジウム

「江戸神田生まれの新島七五三太」 ～神田っ子の心意気～

新島家は祖父の代に安中から江戸神田に出てきました。

新島七五三太は神田っ子の三代目?

幕末の神田の様子と伝統の神田祭について解き明かします。

神田の伝統を守り伝えるお二人(前田氏と後藤氏)と

上州安中藩士末裔(眞下氏)の講演です。

日時 2016年2月12日(金) 午前11時30分～12時45分
場所 学士会館 201号室

パネリスト 前田智彦氏(神田錦町三丁目町会長・公園の名付け親)

後藤禎久氏(市井人・斎藤月岑に学ぶ会会長)

眞下正雄氏(東京新島研究会・安中ボランティアガイド)

参加費 無料

主催 同志社東京校友会 同志社同窓会東京支部

後援 千代田区 千代田区観光協会 株式会社学士会館精養軒 神田錦町三丁目町会